

News Release

2015年4月3日

報道関係者各位

株式会社AAA

沖縄県下地島空港と周辺地域の利活用事業案に弊社提案の
マルチコプター操縦者の操縦技術者養成施設開設
事業案が採用されました。



株式会社AAA(本社：横浜市港北区、代表取締役：小菅和輝、以下AAA)は、沖縄県の下地島空港及び周辺地域の利活用事業の公募において、マルチコプター操縦者の操縦技術者養成施設の事業提案を行い、採択されたことを発表します。

ドローンと呼ばれる無人航空機は、空の産業革命と言われ、近年産業分野において多くの活用が期待され、注目を集めています。特に小型の電動駆動によるマルチローター型ヘリコプター(通称マルチコプター)は、技術の進歩と低価格化から、急速に市場を拡大しており、個人で空撮を手軽に行う手段として、普及が進んでいます。

しかしながら、市場の拡大と合わせて、事故等の事例も増えてきており、健全な産業として発展してゆくためには、安全な運用を確実なものとするための法整備が求められており、政府も今年中に安全運用ガイドラインの策定を行うことも発表しております。

AAAでは数年内に実現するであろう、ドローンオペレータの操縦技術ライセンスの法律化を見据えて、2015年より操縦技術者養成の訓練施設を沖縄県下地島空港ならびに、周辺地域に建設を開始し、ドローンの産業界への健全な普及に貢献して参ります。

また、訓練施設以外にも、無人航空機の飛行デモンストレーションが行えるような、コンベンションセンター機能、研究開発企業や大学、団体の実証実験飛行場としての機能も兼ね備える予定であり、将来的に法整備が進んだ段階では、民間用無人機試験認証機関としての機能も目指します。

株式会社AAA 代表取締役 小菅和輝 のコメント

「多くの皆様が手軽に利用できるマルチコプターの市場が急成長していることは非常に喜ばしいことです。しかし、一つ取り扱いを間違えば、人を怪我させる、最悪の場合、死亡させてしまうような重大事故のリスクも秘めています。どんなに自動操縦の技術が進歩しても、機械は必ず不具合を起こします。そのような時に適切な対処を行えるのは人間しかいません。このすばらしい技術を危険だからという理由だけで縮小させてしまうのではなく、きちんと取扱いを心得た操縦技術者のもと、様々な革新的な活用が広がってゆくことを願っております。」

株式会社AAA 運航技術責任者 佐藤剛 のコメント

「まず、弊社のご提案を採択していただきました沖縄県に御礼申し上げます。長年エアラインの操縦、教育、運航技術職として従事してきた者として、無人航空機の世界にもこのような教育施設の必要性を強く感じておりました。航空産業で培った航空機の安全運航に関する技術ノウハウを惜しみなく投入し、世界をリードするような無人航空機の教育システム確立に貢献して参りたいと思います。」

補足事項

■ 株式会社AAAについて

株式会社AAAは、マルチコプターをはじめとする産業用無人航空機(UAV)サービスのワンストップソリューションを実現するため、2014年に起業したベンチャー企業です。既に、ホビーの領域では、非常に注目を集めているマルチコプターですが、最近普及に伴い、事故の報道も増えて参りました。産業用途において、様々な活用方法が期待される自律飛行型無人ロボットとしてのマルチコプターですが、その信頼性を高めるためには、もう一段階高い次元での開発が必要不可欠となります。我々は、お客様ニーズのヒアリングを行い、課題解決のために最適な無人航空機システム(UAS)の提案を行うことが可能です。機体の開発はもちろんのこと、システムとして運用していく上で必要となる周辺システムの開発、導入後のサポートも含め、トータルでお手伝いさせていただきます。

■ 事業協賛企業、団体募集に関して

株式会社AAAでは、本事業推進にあたり協賛企業、団体を募集しております。ご興味ございましたら、ご遠慮なくお問合せください。

本NEWS Released に関するお問い合わせ先

株式会社AAA 管理本部 広報室

電話：045(472)6555

eMail：info@aaa-creative.co.jp

その他、詳細につきましては

<http://www.aaa-creative.co.jp/>